

海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 今般、警察当局が発表した2022年度第3四半期（2022年10月～12月）の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は50,668件であり、前年度の第3四半期と比較して25.1%の増となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	206件（前年比39.2%増）
強盗	531件（同18.3%増）
強姦	124件（同30.5%増）
未成年への性的暴行	433件（同21.6%増）
麻薬関係	199件（同8.3%減）
暴行	13,886件（同12.1%増）
窃盗	19,045件（同39.0%増）
恐喝	6,577件（同13.8%増）
詐欺	4,813件（同36.0%増）
器物破損	3,337件（同27.2%増）
傷害	1,119件（同27.0%増）
不法侵入	398件（同26.3%増）
合計	50,668件（同25.1%増）

2021年度と比較し、全体的に犯罪件数は大きく増加しています。また、今回の統計結果によると犯罪件数の合計が前年同期比25.1%増という結果となりました。項目毎にみれば、前年同期比で減少しているものは麻薬関係のみとなっており、特に殺人及び窃盗、詐欺は大幅に増加しています。全体で見ても昨年度は年末の犯罪件数増加が特に見られませんでした。今年度は顕著に増加していることが分かります。これは、ガーナ国内の物価上昇及び通貨安（ガーナ・セディ）により経済状況が悪化していることも大きな理由の一つと考えられます。今後、さらに治安状況が悪化する可能性も十分に考えられますので、引き続き注意してください。

皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページの「安全対策基礎データ」、「安全の手引き」を参考に防犯対策を徹底するとともに細心の注意を払ってください。

(2) 一般犯罪（邦人被害）

- ・11月13日（日）夜間、2名の邦人が手荷物を盗まれる被害が発生しました。

両邦人はイースタン州の食堂で深夜まで飲食した後、徒歩で自宅へ向かう途中、背後から2名の男性に話しかけられ、たすき掛けしていた鞆を掴まれそうになったため振り払ったところ、ナイフで切りつけられ指を負傷しました。さらに押されて道路の側溝に背中から転倒。気づいた時には手荷物を奪われており、2名の男性はそのまま逃走していったとのこと。

- ・12月20日（火）夜、邦人が軟禁され、一時的に所持品を盗られる被害が発生しました。

邦人自宅近くのバーで知り合ったガーナ人と仲良くなり、20日ガーナ人宅へ行ったところ、軟禁されて金銭を要求されたとのこと。平手打ち等の暴力を振るわれ、邦人は携帯電話・財布・モバイルマネー等を渡しましたが、さらに要求されて一緒に邦人宅へ行くこととなったが、そのガーナ人は住人でないため邦人宅の敷地に入ることにはできずと警備員に止められ、ガーナ人を外で待たせて自宅に戻った際、警察へ連絡することで被害から免れることができました。結果として、携帯電話・財布・モバイルマネー等は全て返ってきたものの、そのガーナ人は今も逃走中とのこと。邦人に怪我はありませんでした。

- ・邦人宅にて現金を盗まれる被害が発生しました。

12月24日（土）、旅行前に自宅に保管していた現金を取り出そうとしたところ、半分以上なくなっていることが判明したとのこと。警察に被害届を出し、調査中です。

(3) 凶悪犯罪（外国人被害）

- ・ 12月4日深夜、世界銀行のスタッフが自宅侵入強盗の被害に遭う事件が発生しました。

住人は就寝しようとしていたところ、犯人が窓から自宅に押し入り、貴重品及び現金を盗んで逃走したとのことです。住人に怪我はありませんでした。

- ・ 12月9日昼間、実業家の中国人女性が車両走行中に武装強盗団に襲われる事件が発生しました。

強盗団は女性の車両に向けて銃を数弾発砲し、女性は左手に怪我を負い、病院へ搬送されました。

その後、警察が駆けつけ銃撃戦となり、強盗団の2名は死亡、1名は逮捕されました。残りの者についても調査中とのことです。

2. テロ・爆弾事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

当国における外国人を対象とした該当事件の発生は確認されておりません。

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上